

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 乳がんにおけるX染色体再活性化と遺伝子発現の調査研究</p>
	<p>●研究の対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がんを対象とした浜松医科大学キャンサーバイオバンクの設立」に同意し研究参加されている方。 ・「ヒト固形腫瘍の遺伝環境表現系相関」に同意し研究参加された方。
	<p>●研究の目的</p> <p>この研究の目的は、乳腺腫瘍の発症メカニズムの可能性のあるX染色体再活性化が、実際の乳腺腫瘍のなかでどのくらい存在するのか（もしくはしないのか）、そしてその遺伝子の発現変化を調査することです。この研究を行うことで、病気の原因の解明につなげ、新たな予防法や治療法が開発されるきっかけになると考えられます。</p>
	<p>●研究の期間</p> <p>研究機関の長による実施許可日から 2034 年 3 月まで</p>
	<p>●利用又は提供を開始する予定日</p> <p>研究機関の長による実施許可日</p>
	<p>●他の機関に提供する場合には、その方法</p> <p>データの提供は、記憶媒体（CDR/DVDR）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。試料の提供は宅配便で行います（WHO「感染性物質の輸送規制に関するガイダンス」を準拠）。特定の個人を照合するための情報は、提供元の研究責任者・研究分担者が保管・管理します。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報</p> <p>情報：年齢、性別、既往歴、出産・授乳歴、生化学検査値、病理学的検査値 等</p> <p>試料：組織検体および術後残余検体</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名</p> <p>浜松医科大学 分子生物学講座 大畑樹也 公益財団法人 佐々木研究所附属杏雲堂病院 梶村春彦</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、使用や提供を停止することができます。ただし、同意を取り消した時すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などのように、試料や研究結果を廃棄することができない場合があります。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>この研究では個人に開示できる結果はありません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 分子生物学講座</p> <p>担当者： 大畑樹也</p> <p>TEL： 053-435-2323</p> <p>E-mail： ohhata@hama-med.ac.jp</p>